

(別添1)

No.	
策定年月	令和3年6月
見直し年月	令和4年6月

麦・大豆生産性向上計画

都道府県名：長野県

1. 麦・大豆の生産性向上に向けた方針

(1) 麦・大豆の生産性向上・産地強化に向けた方針

麦・大豆は、水田転作及び畑作振興として重要な作物であり、近年、主食用米の国内需要が減少する中で、水田面積を維持し、安定した水田農業経営を実現するには、麦・大豆の生産拡大及び生産安定を推進する必要がある。

現在、長野県における麦・大豆の生産振興については、第3期長野県食と農業農村振興計画に沿って、長野県水田収益力強化ビジョン、長野県麦・大豆生産振興方針により関係者が一体になって推進しているが、生産者戸数が減少し、担い手への集積が急速に進む中で、先進的な営農技術や効率的作業を可能とする機械等の導入により、生産性の高い麦・大豆産地づくりを速やかかつ戦略的に推進していく必要がある。

このため、本計画において、麦・大豆生産拡大に係る取組をより具体化するとともに関係者の連携を強化し、水田農業の更なる活性化を図っていくこととする。

また産地と生産者団体・実需者の合意のもと、実需ニーズに合わせた品種転換など計画生産を進めるとともに、用途に適した品質の確保対策に努める。

(2) 県で推進する団地の基準等

長野県においては、機構集積協力金の地域集積協力金(集約化タイプ)の基準に準じ、1ha以上の一連の農作業に支障が生じない2筆以上の隣接する農地とする。ただし、長野県は中山間地域が多いことから、中山間地域においては0.5ha以上とする。また、長野県は県土が大きく、地形等多岐にわたることから、この基準がなじまない産地は、地域の状況に適した基準の設定を可能とし、生産性向上の観点から合理的と判断できる場合にはこれを認める。

2. 麦・大豆生産の現状と課題

(1) 需要に応じた生産の現状と課題

- ・大麦については、機能性の高いもち性品種、小麦についてはパン・中華麺用の硬質系品種で需要を満たしておらず、実需者から生産拡大を強く求められている。
- また、産地によりタンパク質含有量等品質にバラツキがあることから、用途に応じた品質の確保が求められている。
- ・大豆については、実需者から需要のある品種の安定供給が望まれている。

※ 麦については、直近の民間流通連絡協議会における販売予定数量と購入希望数量がわかる資料を添付すること。

(2) 生産における現状と課題

- ・麦、大豆ともほ場の排水不良と難防除雑草により収量が低下している。
- ・小麦は収量・品質の向上を図るため、産地や品種に応じた施肥等の栽培技術の確立が必要である。
- ・小麦品種の課題では、製麺後の色相の劣化がある「ゆめきらり」や縞萎縮病に抵抗性が低い「シラネコムギ」、赤さび病に対する耐性や耐寒性が弱い中華めん用品種「ハナマンテン」に代わる新品種への転換が生産現場から強く望まれている。
- ・大豆ではカメムシなどの病虫害被害により品質低下を招いている。

(3)実績

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		令和元年産	令和2年産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2年産	令和3年産(現状)	令和元年産	令和2年産	令和3年産(現状)
小麦 (軟質)	シラネコムギ	416	392	404	239	304	202	995	1,190	818
	しゅんよう	456	404	410	321	277	291	1,465	1,120	1,195
	ユメセイキ	239	222	235	394	461	420	942	1,023	988
	ゆめきらり	493	505	502	329	327	304	1,620	1,652	1,526
小麦 (硬質)	ハナマンテン	408	415	424	277	230	203	1,129	956	861
	ゆめかおり	186	193	197	302	295	242	561	569	477
	その他	42	49	48	331	286	294	139	140	141
小麦計		(2,020) 2,240	(1,970) 2,180	(1,970) 2,220	306	305	271	6,850	6,650	6,006
大麦	ファイバースノウ	297	303	323	432	384	337	1,282	1,163	1,090
	ホワイトファイバー	189	201	217	407	444	400	770	893	869
	シュンライ	84	58	63	307	421	349	258	244	220
大麦計		(508) 570	(499) 562	(539) 603	405	409	361	2,310	2,300	2,179

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)	平成30年産	令和元年産	令和2年産(現状)
大豆	ナカセンナリ	1,514	1,403	1,385	173	141	90	2,613	1,974	1,252
	ギンレイ	88	137	107	172	134	93	151	184	99
	つぶほまれ	73	72	53	171	136	196	125	98	104
	すずろまん	19	20	20	168	165	145	32	33	29
	すずほまれ	194	225	222	171	139	65	332	313	145
	その他	182	173	173	-	-	-	307	238	541
作物計		(1,560) 2,070	(1,550) 2,030	(1,550) 1,960	172	140	111	3,560	2,840	2,170

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

3. 課題解決に向けた取組方針・計画

(1)取組方針

①需要に応じた生産と販売の実現

大麦については、今後需要増が見込まれるもち性大麦「ホワイトファイバー」の新規産地の掘り起しを推進し、作付け拡大を図る。

小麦についてはパン・中華めん用の硬質系小麦の需要が高まっており、実需者ニーズを反映した望ましい品種構成を示し、令和5年産までに品種転換を計画的に進める。

小麦品種の課題では、「ゆめきらり」の製麺後の色相劣化や縞萎縮病に抵抗性の低い「シラネコムギ」の対策として、「東山55号(しろゆたか)」を奨励品種として栽培指針を策定し、種子の確保ができる令和5年産に全面転換を図る。また、凍霜害の影響を受けやすく、産地から品種転換の要望が強い「ハナマンテン」についても「東山53号(ハナチカラ)」を奨励品種として栽培指針を策定し、種子の確保ができる令和5年産に全面転換を図る。

大豆については、指導者を対象とした研修会を通じ、排水対策の徹底や酸度矯正、種子更新等の基本的な栽培技術の励行を図り、帰化アサガオ類など、難防除雑草に対する検討会を開催し、防除対策の実施を推進する。また、実需者との情報交換等により、需要及び地域の適性に見合った品種の作付けを推進し、需要量を確保する。新たに認定品種となった「東山231号(すずみのり)」については、令和5年産からの品種転換に向けて実証試験による現地への普及と以後の作付け拡大を進める。

また麦・大豆ともに令和5年産からの品種転換が予定されているため、これを契機にし、排水対策等の基礎技術の再徹底やドローン活用などの新技術導入による産地力の強化を図る。

②団地化の推進

人・農地プランの推進に合わせて、麦・大豆の団地化に向けた地域での話し合いを進め、農地の集積・集約化による団地化を推進する。

③排水改良

水田転作畑では、明渠や暗渠の設置や畦立て栽培など排水対策を進める。

④普及を図る技術等(水田麦・大豆産地生産性向上事業実施要領 別表3 に記載の取組以外に県内で普及を図るもの)

・湿害対策技術の導入: サイドディスク又はサイドリッジ等の装着による小明渠施工、及び プラウ・溝堀機等の使用による額縁明渠の施工

※ ①需要に応じた生産と販売の実現、②団地化の推進については必ず記載する。その他必要な項目を産地の実態に即して記載すること。

※ 都道府県等で開発した技術等に取り組む場合は本項目に技術名を記載すること。

3. 課題解決に向けた取組方針・計画

(2) 計画

① 生産量

作物名	品種名	令和2年産(現状)			令和9年産(目標)			備考	
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)		
小麦 (軟質)	シラネコムギ	392	304	1,190	—	—	—	シラネコムギ及びゆめきらは全面切り替えを図る	
	しゅんよう	404	277	1,120	430	350	1,505		
	ユメセイキ	222	461	1,023	190	520	988		
	ゆめきらり	505	327	1,652	—	—	—		
	東山55号(しろゆたか)	0	—	—	600	400	2,400		
小麦 (硬質)	ハナマンテン	415	230	956	—	—	—	ハナマンテンは全面切り替えを図る	
	ゆめかおり	193	295	569	650	360	2,340		
	東山53号(ハナチカラ)	—	—	—	510	430	2,193		
	その他	49	286	140	20	350	70		
大麦	ファイバースノウ	303	384	1,163	300	500	1,300		
	ホワイトファイバー	201	444	893	210	500	1,050		
	シュンライ	58	421	244	90	500	450		
作物計		(2,457)	2,742	326	8,950	(2,700)	3,000	410	12,296

作物名	品種名	令和3年産(現状)			令和10年産(目標)			備考	
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)		
小麦 (軟質)	シラネコムギ	404	202	818	—	—	—	シラネコムギ及びゆめきらは全面切り替えを図る	
	しゅんよう	410	291	1,195	430	350	1,505		
	ユメセイキ	235	420	988	190	520	988		
	ゆめきらり	502	304	1,526	—	—	—		
	東山55号(しろゆたか)	0	—	—	600	400	2,400		
小麦 (硬質)	ハナマンテン	424	203	861	—	—	—	ハナマンテンは全面切り替えを図る	
	ゆめかおり	197	242	477	650	360	2,340		
	東山53号(ハナチカラ)	—	—	—	510	430	2,193		
	その他	48	294	141	20	350	70		
大麦	ファイバースノウ	323	337	1,090	300	500	1,500		
	ホワイトファイバー	217	400	869	210	500	1,050		
	シュンライ	63	349	220	90	500	450		
作物計		(2,520)	2,823	290	8,185	(2,700)	3,000	417	12,496

3. 課題解決に向けた取組方針・計画

作物名	品種名	令和元年産(現状)			令和8年産(目標)			備考
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	
大豆	ナカセンナリ	1403	141	1,974	1,500	175	2,625	すずほまれは全面切り替えを図る
	ギンレイ	137	134	184	120	175	210	
	つぶほまれ	72	136	98	50	175	88	
	すずろまん	20	165	33	20	200	40	
	すずほまれ	225	139	313	—	—	—	
	東山231号	—	—	—	360	180	648	
	その他	173	138	238	150	180	270	
作物計	(1,610)	2030	140	2,840	(1,800)	2,200	181	3,881

作物名	品種名	令和2年産(現状)			令和9年産(目標)			備考
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	
大豆	ナカセンナリ	1385	90	1,252	1,500	175	2,625	すずほまれは全面切り替えを図る
	ギンレイ	107	93	99	120	175	210	
	つぶほまれ	53	196	104	50	175	88	
	すずろまん	20	145	29	20	200	40	
	すずほまれ	222	65	145	—	—	—	
	東山231号	—	—	—	360	180	648	
	その他	173	—	541	150	180	270	
作物計	(1,520)	1960	111	2,170	(1,800)	2,200	181	3,881

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。

※ 表は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

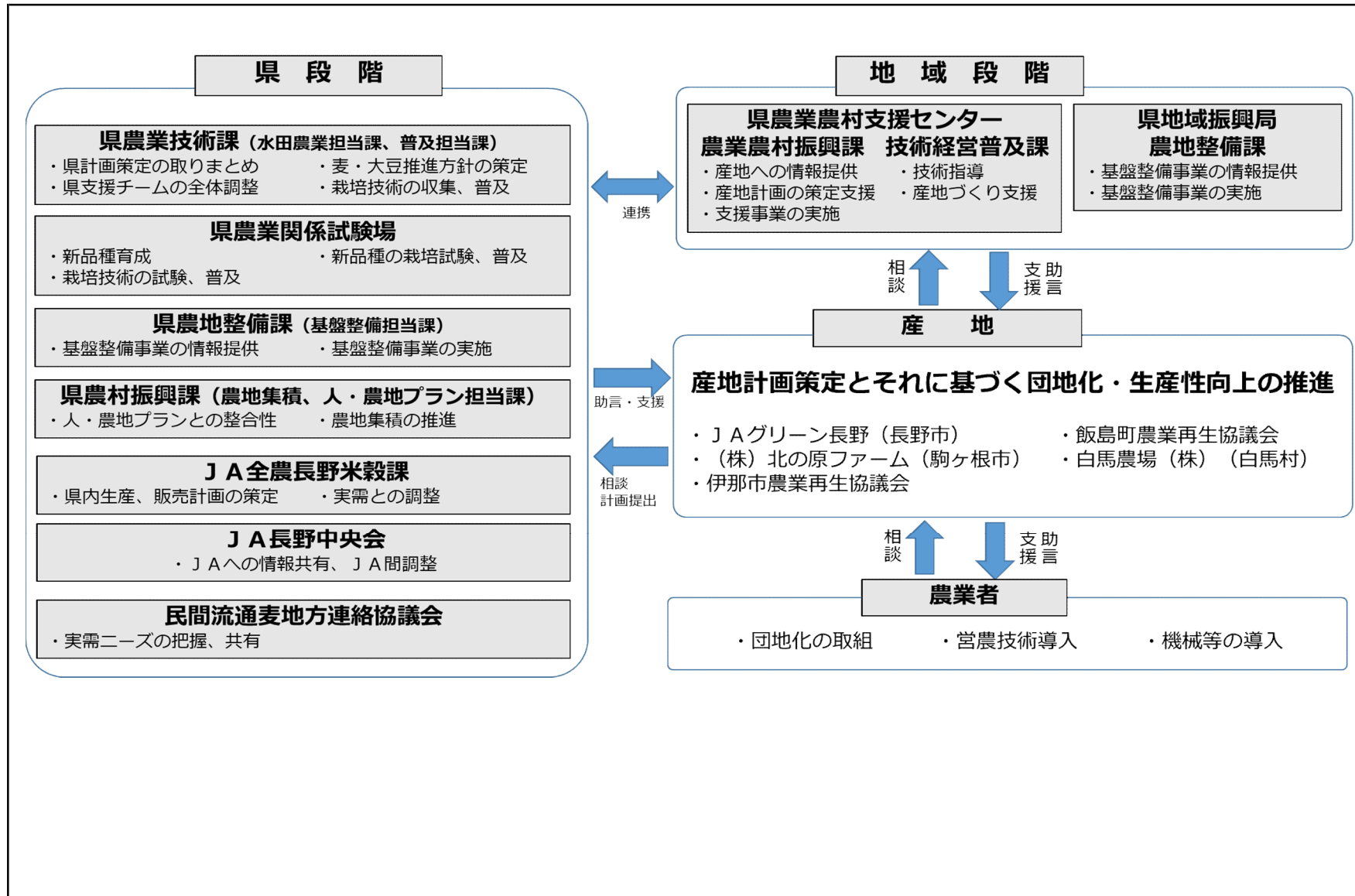
※ 現状値は、計画策定時に数値が把握できる直近の年産を記載する。麦と大豆で年産が異なっても問題ない。

※ 目標年は計画策定年から5年後に生産(麦においては播種)する年産とする。麦と大豆で年産が異なっても問題ない。

※ 直近年が災害等により直近年の記載が適当でない場合は、現状値を7中5とすることが出来る。その場合備考欄に明記すること。

※ 作付面積、生産量以外の目標を設ける場合は適宜行を追加して記載すること。

4. 推進体制及び役割



5. 他計画・プラン等との連携

	連携する計画・プラン等名称	作成年	備考
1	第3期長野県食と農業農村振興計画	平成30年	
2	長野県主要農作物生産振興基本計画	令和3年	毎年更新
3	長野県水田収益力強化ビジョン	令和3年	毎年更新
具体的連携内容			
<p>本計画の実施に当たっては、第3期長野県食と農業農村振興計画及び長野県主要農作物生産振興基本計画との整合を図るとともに、本計画の内容を、毎年作成する地域の水田収益力強化ビジョンに反映させることとする。</p> <p>特に、団地化の推進にあたっては、産地で作成する人・農地プランとの連携を図り、集積された農地が、効果的に活用されるよう団地化を推進する。</p> <p>具体的には、麦・大豆増産に取り組む地域は、人・農地プランにおいても、作成時・見直し時に麦・大豆の増産に係る内容を盛り込み、作物の団地化も考慮しプランを作成することとする。</p>			

6. 活用予定の事業

関連	事業名	備考
○	水田麦・大豆産地生産性向上事業	麦・大豆において実需ニーズに合わせた品種転換と、それを契機にした排水対策の再徹底等、産地力の強化を推進する。
○	持続的生産強化対策事業のうち戦略作物生産拡大支援のうち作付け体系転換支援事業	麦・大豆ともに令和5年産からの品種転換が予定されているため、これを契機にし、排水対策等の基礎技術の再徹底やドローン活用などの新技術導入による産地力の強化を図る。(令和4～令和6年予定)

※県段階で想定している事業名について、記載願います。

※別紙第6の事業に該当する場合は、「○」を入力してください。その他の事業を活用する場合は「-」。

※備考欄には、活用する時期や具体的な取組内容を記載すること。

7. 麦・大豆産地生産性向上計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	活用予定の事業
1	グリーン長野農業協同組合	長野市	水田麦・大豆産地生産性向上事業
2	(株)北の原ファーム	駒ヶ根市	水田麦・大豆産地生産性向上事業
3	伊那市農業再生協議会	伊那市	水田麦・大豆産地生産性向上事業
4	飯島町農業再生協議会	飯島町	水田麦・大豆産地生産性向上事業
5	白馬農場(株)	白馬村	水田麦・大豆産地生産性向上事業

※ 各主体が作成した「麦・大豆産地生産性向上計画」を添付するものとする。